

ひとときを輝くパートナー

「おらほのりんご」で冬行く編



素早く1車分を積み込むドライバー



(協和輸送の山平さんが「みつまるくん」を積んで出発)



みつまるくん約1000ケースを出荷



蜜入りが好評のりんご



キャブはオーシャンブルーに輝く



メッキバンパーがインパクト大

本格的に冬が到来し、雪が燦々と降り積もるJA相馬村管内。今回フルーツステーションを出発したのは、消費者に大人気の蜜入りりんご「みつまるくん」を積んだ(株)協和輸送のトラック。雪道のなか、片道約15時間の道のりを安全運転で大阪まで運ぶ。ドライバーの山平さんは、「私も蜜入りりんごが大好きです。あの透き通るような蜜は格別ですね。やっぱりりんごは赤いサンふじが一番。生産者が頑張って作ったりんごを私たちも一生懸命に運びます。無事に消費者へりんごを届けるたびにドライバーとしてのやりがいを感じています。これからも美味しい飛馬りんごをたくさん作って下さい。」と笑顔で答えてくれた。

「みつまるくん」は、JA相馬村の蜜入りブランドとして広く消費者から好評を得ており、最新式の光センサーによる選果システムで基準を満たしたもののだけが出荷されている。お日さまをいっぱいに浴びた「みつまるくん」は、ジュシーで抜群の美味しさを誇る一品だ。寒暖差の大きい相馬の自然を生かして作り上げた飛馬りんごを是非一度ご賞味あれ。

魅力
Part 2

農業振興課 広報担当
齊藤 大貴

JA相馬村広報

りんごのもり
林檎の森

2018.2 Vol.427

- 発行者
相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497
- 編集
総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp
- 発行日
2018年2月15日

JA 相馬村概況

〈平成 30 年 1 月末日現在〉

| | |
|-----------|--------------|
| 組合員数 | 879 人 |
| (うち准組合員数) | 357 人 |
| 出資金 | 638,860 千円 |
| 貯金額 | 9,191,152 千円 |
| 共済保有高 | 3,514,362 万円 |